

エストニア外国投資・貿易促進局

高まるシェアード・サービスへの期待

ビジネスにおけるコスト削減が叫ばれるなか、コールセンター、ICTテクニカル・サポート、金融サービスなどのアウトソース部門における、エストニアによるシェアード・サービスへの期待が高まっている。

エストニアは、その歴史的側面から多くの人々が他言語を話す背景がある。労働人口の55%が流暢な外国語による対応が可能であり、英語、フィンランド語、スウェーデン語、ロシア語、ドイツ語、ポーランド語などが話せる人材を探す場合に、この国では苦勞をすることはない。

シェアード・サービスにおけるインフラ面においても、エストニアは先進している。企業の86%がブロードバンドに接続しており、この比率はCEE諸国では最も高い普及率となっている。また、すべてのブロードバンド接続が100Mbps対応となるサービス基盤の整備が、2015年までに完了する。さらには、4Gサービスのテスト運用も開始されるなど、テストマーケットとしての期待度も高い。

「インターネットへの接続は、基本的人権のひとつ」とされているエストニアでは、国民のITリテラシーは総じて高い。高品質のアウトソーシング業務でも、コストが高くては意味がない。同質のサービスを、スウェーデンやフィンランドの半分の人件費で提供していることが、現在ではエストニア最大のアドバンテージとなっている。エストニア外国投資・貿易促進局では人材の確保、研修に関しても支援プログラムを用意しており、外国企業による進出の際にも利用が可能となっている。

また、企業のクラウド・コンピューティングの利用が進むなかで、データセンター候補地としての注目も集めている。これは、先に述べた人材とインフラの背景に加え、低い平均気温による電力コストの削減が見込まれることによる。

経済後退のさなかにも、均衡財政をかたくに守り通した結果、財政赤字は欧州で最も低い数字を維持し、ユーロ加盟の条件を満たすこととなった。本年6月からのOECD加盟も重なり、エストニアの信頼度が高まることによって、さらなる利用が加速されるものとみられている。

お問い合わせは、エストニア外国投資・貿易促進局（〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング3階、TEL：03-6721-8255、FAX：03-6862-6466、E-mail：info@estonia.or.jp）まで。

